

# わくわくの1日目!

## ★ 午前の部 (10:00~12:40頃) ★

### 1 ご挨拶と問題提議 「成熟社会を目指して、わたしたちが提言していくこと」

認定NPO法人日本クリニックラウン協会 理事長 河 敬世

病気や障害を抱える子どもたちと家族を支えるためには、社会全体が“成熟”することがとても重要です。子どもみんなの社会を実現するために、日本では子ども家庭庁が2023年4月1日に誕生しました。子どもの視点に立って意見を聞き、子どもにとって一番の利益を考えるとということで設立した子ども家庭庁に、私たちの声を届けていくことが大切だと思います。成熟社会を目指すために、つながることのできることを皆さんと一緒に考えていきましょう。



### 2 多職種連携による療養環境への取り組み ～兵庫県立尼崎総合医療センターの実践より～

兵庫県立尼崎総合医療センター  
小児血液・腫瘍内科 部長 宇佐美 郁哉



兵庫県立尼崎総合医療センターでは、コロナ禍となってからはWeb訪問を毎月開催してもらっています。子ども病院でもない、大学病院でもない我々のような中規模市中病院ではマンパワーがどうしても不足します。それを補うために実践していることが皆様の参考になればと思います。お話をさせていただきます。

一言で言えば、「使えるものはすべて利用して、気力体力で乗り切る!」となります。Web訪問日のとある一日を紹介させていただきたいと思います。



### ♡ シェアタイム「心に残った言葉」

### 3 小児がんや重い病気とたたかうお子様やご家族に心のケアで「笑顔」と「勇気」を!

認定 特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ  
事務局長 ニーリー 美穂



シャイン・オン!キッズは、2歳を前に白血病で旅立ったタイラーの両親が立ち上げた団体です。

2023年7月現在、全国29病院に心のケアのプログラムをお届けしています。専門的にトレーニングされた犬と看護師資格を持つハンドラーが子ども病院に常勤しお子様に寄り添うファシリテッド・プログラム(動物介在療法)、治療の軌跡を意味のあるビーズで繋げるビーズ・オブ・カレッジ(アート介在療法)などの欧米発の革新的な活動を核に社会心理的ケアを展開しています。

# ドキドキの2日目!

## ★ 午前の部 (10:00~12:40頃) ★

### 1 医療的ケア児が地域で安心して暮らしていくには何が 필요한のか?

株式会社 ノーサイド  
代表取締役 中西 良介



医療的ケア児支援法が施行されもうすぐ2年になります。この法律は医療的ケア児とその家族に対して支援をしていく法律です。では「支援」とはいったい何を指すのでしょうか?どの部分を支援することで本当の支援にたどり着くのか?そんなことを皆さんで考えるお話が出来ればと思っています。

### 3 自分にとって、周りにとっても心地よい環境づくり

クラウンワンジャパン  
Clown One Japan  
代表 金本 麻理子



ケアリングクラウンとして現場に立ったときに常に考えていることは「今、自分は周りからどんなふうに見えるのか?」ということです。人と人は影響し合って生きています。クラウンのあり方次第ではその場が心地よい雰囲気になることもあるし、その逆も然りです。その観点からクラウンの役割や可能性を一緒に考えたいと思います。

### 2 当事者意識を育むために

昭和大学大学院保健医療学研究科  
准教授 副島 賢和



病気のある子どもたち」と聞くと、どんな言葉が頭に浮かびますか?小学生に聞かされると、「かわいそう」「うつらない?」「死んじゃう?」「つらいよね」という言葉を教えてくれます。とても素敵だと思えます。でも、あなたの立ち位置はどこですか?と尋ねます。子どもたちは「相手の気持ちを考えなさい」「思いやりをもちなさい」と言われます。当事者意識・自分ごと化…と言われますが、とってむずかしいことですよね。相手の気持ちを考えたり、思いやりをもったりするためにはどうしたら良いか、一緒に考えてみませんか。

### ♡ シェアタイム「心に残った言葉」



12:40~13:10 ランチ休憩 / 13:10~13:40 ランチョンセミナー by クリニクラウン

## ★ 午後の部 (13:40~16:00) ★

### 4 入院中の子どもに付き添う 家族の現状と私たちにできること

特定非営利活動法人 キープ・ママ・スマイリング  
理事長 光原 ゆき

小児病棟に泊まり込み子どもに付き添う親は食事や睡眠など基本的な生活さえ保障されておらず、多くの親は疲弊し切っています。私たちは「親の笑顔と健康を守ることは子の早い回復に貢献する」と考え、付き添い家族のサポートに取り組んできました。



また、付き添う親の置かれている環境を改善するために実態調査を実施。結果をもとに各方面へ改善に向けて働きかけを行なっています。一緒にこの問題についてお話しできることを楽しみにしています!

### 5 みんなで届ける『こども時間』 協会を支えるボランティアのひみつ

認定NPO法人 日本クリニックラウン協会  
事務局長 熊谷 恵利子



日本クリニックラウン協会は、コロナ禍でも積極的にボランティア活動を実施してきました。それは、つながると楽しい!世界が広がるから!そして、応援が力になるから!外部支援とつながることが組織にとっての大きな力につながるからです。

ライターボランティア・あかはな Jr ボランティア・こども時間案内人・工作ボランティアなど、さまざまなボランティアと一緒に歩んできた経験から、ボランティア活動の魅力や病気や障がいを抱える子どもたちやそのきょうだい家族を支えていくために「私ができること」を見つけてみませんか?

### ♡ クリニクラウンと考える”こども支援”

12:40~13:10 ランチ休憩 / 13:10~13:40 ランチョンセミナー by クリニクラウン

## ★ 午後の部 (13:40~16:00) ★

### 4 こどもがこどもとして生きること ～北海道こどもホスピスプロジェクトの活動を通して～

旭川市立大学短期大学部  
副学長 佐藤 貴虎



私がこどもホスピスと最初に会ったのは、英国・マンチェスター大学に留学中の1999年、市内にあるこどもホスピス・フランスハウスでした。初めて訪れた時は今でも鮮明に覚えています。「こどもホスピスってこんな場所なのか!」との衝撃を受けると同時に、何だか何度も訪れたことのあるような懐かしさを感じる場所でした。重い病気や障がいと共に生きるこどもとその家族が病院と自宅以外の居場所として、安心して過ごし、遊びや学びを通して、こどもとしての時間を十分に持つことのできる育ちの場。家族にとっても安らぎの場となるような環境が整えられた場。そんな場を北海道にもつくりたく活動を2015年から続けています。

### 5 あそびは無限! 大人のための「こども時間」

認定NPO法人日本クリニックラウン協会  
クリニックラウントレーナー 川島 由衣



日本クリニックラウン協会は、2020年からWeb事業を立ち上げ、コロナ禍でもどうやったら入院中の子どもたちと繋がれるか、メンバーとアイデアを出しあいながら、「今、自分たちにできること」を取り組んできました。そんな中、訪問先病院の保育士さんたちと一緒に作り上げた「オンラインプログラム "宝探し"」!!

本日、皆さまを"宝探し"の旅へと誘います。どんな発見やお宝が待ってるか。お楽しみに♡

※クリニクラウンのオンラインプログラムは、ホームページをご覧ください。

### ♡ シェアタイム「2日間のまとめ」